

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	看護倫理	1	15	2年次	9月	甲斐 愛子
授業概要 人として、職業人として関係の深い法的背景を踏まえながら、患者の権利擁護とプライバシー保護について理解し、倫理に基づいた行動が取れる能力を養う。						
到達目標 1.看護倫理を学ぶ意義を理解する。 2.看護倫理について理解する。 3.看護倫理を考えるための諸要素について理解する。 4.看護の場で生じやすい倫理上の問題を理解する。						
使用教材 テキスト：①小西恵美子：看護学テキスト NiCE 看護倫理，南江堂 ②東京医科大学看護専門学校：よくわかる看護者の倫理綱領，プチナース編集版，照林社 参考文献：日本看護協会監修：看護者の基本的責務 定義・概念/基本法・倫理，日本看護協会出版会						
評価 筆記試験、出席状況、ディスカッション時の意見・態度、レポートを総合して評価する。						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	1. 看護倫理とは 1)倫理とは、倫理と道德 2)徳の倫理、原則の倫理 3)看護倫理とは、看護倫理を学ぶ意義					講義
2時間・1回	2. 専門職としての看護師の倫理的責任 1)看護倫理の歴史的推移 2)徳の倫理、ケアリングの倫理、原則の原理 3)専門職としての看護師の倫理的責任					講義
2時間・1回	3. 看護倫理の諸要素 1)コンパッション(思いやりの心)、ケアリング 2)アドボカシー 3)パターナリズム 4)患者の権利 5)プライバシーの保護、個人情報保護 6)インフォームドコンセント 7)セカンドオピニオン					講義
4時間・2回	4. 倫理的な意思決定 1)看護の場で生じやすい倫理上の問題 2)倫理的な意思決定 (1)臨床倫理の4分割法 (2)4ステップモデル (小西,2005、ICN 一部修正)					講義
2時間・1回	5. 倫理的諸問題における看護師の倫理的判断 1)生命倫理に関する諸問題に対する倫理的意決定 2)看護学生が遭遇する倫理的諸問題とその解決					講義
2時間・1回	6. 看護における倫理 1)看護の領域と倫理 2)倫理的検討の場 3)看護研究と倫理					講義
1時間・1回	筆記試験					
備考 ○関連科目：生命倫理の学びも併せて考える						